

事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価)							記入年月日	
平成28年度							平成 28 年 4 月 1 日	
事務事業名		県高度情報化推進協議会参画事業			事業区分		担当	
政 策 体 系	政策体系上の位置付け		O101 計画的・効率的な自治体運営の推進	新規/継続	継続	事務事業No.	010102000260	
	総合計画の施策名	政策名		単独/補助	単独	所属課	010201	
	政策名	O1 市民と行政による豊かな地域の自治づくり		主要事業	対象外		企画課	
	施策名	O1 計画的・効率的な自治体運営の推進		市長マニフェスト	対象外			
予算科目	基本事業名	O2 効率的な事務事業の推進		未来PJ事業	対象外	グループ	企画グループ	
	財務会計上の位置付け			合併建設計画事業	対象外			
事業期間								
法令根拠	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)	
	O1	O2	O1	O9	O1	OO	➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
国民年金法・地方自治法								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要		
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>①事務事業の概要（事務事業の全体像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県の高度情報化を推進するための中核的な組織として「茨城県高度情報化推進協議会」が平成8年8月28日に設立されました。 この協議会には、産業や学術研究、行政といった様々な分野にまたがる団体が参加しており、情報化に関する様々な事業を実施している。 また、県情報化推進協議会パソコン講習参画事業がH21年度よりこの事業に統合された。 	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度総会への参加 ・「第18回いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞2014」のPR活動（市ホームページへお知らせの掲載） ・電子自治体構築セミナーへの参加 ・セキュリティ研修会への参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
• 平成26年度総会への参加 • 「第18回いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞2014」のPR活動（市ホームページへお知らせの掲載） • 電子自治体構築セミナーへの参加 • セキュリティ研修会への参加	高度情報化推進協議会事業への参加回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	パソコン講習会参加回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
企画課担当職員	参加職員数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
各種事業に参加する事により、情報技術を使いこなす能力の向上や他市町村や県・事業者と意見交換する。	事業の数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	参加職員の人数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	40	40	40	40	40
		事業費計(A)	千円	40	40	40	40	40
	人 件 費	正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
		述べ業務時間	時間	37.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		人件費計(B)	千円	107	87	87	87	87

トータルコスト(A)+(B)		千円	147	127	127	127	127
事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)			
	19 負担金補助及び交付金	40		19 負担金補助及び交付金	40		
合計			40				40

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	県高度情報化推進協議会参画事業	事務事業No.	10102000260	所属課	企画課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併以前の市町村時代からの参加。 県及び県内43市町村、民間のIT関連の企業業者31社、各種団体会員21団体、合計96団体で構成されている。（平成26年3月1日現在）					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目	
①政策体系との整合性	(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) 【結びついている】 情報化政策を推進する上で、当協議会での各種事業や情報の取得は重要である。
②公共関与の妥当性	(なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) 【妥当である】 会員である事により、単市では出来ない事業に参加出来る。
③成果の向上余地	(成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) 【向上余地がない】 各種事業に参加する事により、参加職員のレベルアップが図られ、今後の当市の情報化施策に生かされていく事となる。
④廃止・休止の成果への影響	(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) 【影響有】 協議会主催の事業に参加出来なくなる。または、無料の参加費が有料になる。
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性	(類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)➡ 【具体的な手段、事務事業名】 【余地がない】 特にない
⑥事業費・人件費の削除余地	(成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) 【削減余地がない】 当協議会の会費は、市においては人口数で決められている。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地	(事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) 【公正・公平である】 県内すべての自治体が参加している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）	
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり		適切に運用されているが、各種事業に多く参加する事でレベルアップが図られる。 引き続き参画する事で、当市の情報化施策に生かされていく事となる	
(3) 今後の事業の方向性		(複数回答可) □ 終了 ■ 繼続 → □ 改革改善を行う → (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる)	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
		成果 ↑ ○ ↓ × × ×	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 (9) コスト削減優先度評価結果 (6)	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)		
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） 	C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出 確認欄 <input type="checkbox"/>		